

<3段階評価> 具体的施策に対し、内容が A=合致している B=合致しているが内容が足りない C=合致していない

施策展開	主な取り組み	具体的施策	R4	R5	R6	R7	R8	評価委員会意見・感想
1 生涯学習の振興	(1)市民の学習意欲に幅広く応え、より満足度の高い学習機会の提供に努めるとともに、参加しやすい学習環境を整えます。	①様々な機関と連携し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べる環境を提供します。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・目標に合致した「学べる環境の提供」を様々な事業で展開している。 ・学習環境の整備と市民への情報提供を進めてほしい。 ・事業名に工夫が見られ、目を引く一方で内容が分かりにくい名称もあった。事業名で内容が伝わることで参加意欲にもつながると思う。 ・各地区交流センター等でも参加しやすい提供がなされていると感じた。 ・各地区交流センターとも参加者の固定化がみられると思うので、新たな参加者の呼び込みの工夫をし参加者増につなげてほしい。 ・職員等（事務職員）研修は、今後も開催してほしい。お互いに会議を通して交流や意見交換、事業等の参考・課題や活動の充実につながる機会となる。会計年度任用職員が参加しやすい時間設定なども検討してほしい。 ・1（1）②「学びの情報」と表裏一体のものであり充実した内容だと感じた。
		②学びの情報を発信します。	B	B				<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供されているが、十分かどうかは疑問もあるが、各地区交流センター報は有効な手法と考える。 ・「学びのしおり」を多くの人目につきやすいように大型スーパーなど公共施設以外への設置を検討してほしい。 ・地区交流センター報は、わかりやすい内容で情報発信されており、住民にとっては活動状況等知る機会が増えていると感じている。 ・1（1）①「学びの環境」と表裏一体のものであり充実した内容だと感じた。 ・評価項目としては、情報発信に特化した事業を記載すべき（評価対象事業を検討してほしい）。
	(2)学校・家庭・地域の連携により様々な体験活動や交流事業、家庭教育支援などを実施し、地域で子どもを育てる体制づくりに努めます。	①体験活動や交流事業を推進します。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・事業のベースがしっかり構築されている。また、多種多様な事業を展開されている。 ・多くの小中学生から事業へ参加者していただくためには、学校・家庭との連携が必要と思う。 ・今後も子どもたちが参加できる事業を地域と連携しながら継続してほしい。 ・地域コーディネーターの活躍に期待する。 ・学校側と地域コーディネーターの連携により、授業の指導や助言、取り組みの相談対応を行っている。
		②家庭教育を支援します。	A	B				<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事業のほかにも、少しずつやれるべき事業を発掘する必要がある。 ・市報や地域広報で取り上げてもらい参加者同士の悩みや思いを共有する場づくりを今後も継続的に取り組んでほしい。 ・少子化で地区交流センターでの開催が困難になっている。
	(3)学習の成果を地域活動への参画や社会貢献に活かす環境づくりに努めます。	①学びのサイクル(循環)を推進します。	A	B				<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化や課題解決に向け、引き続き地区交流センターを中心に取り組んでいただきたい。 ・継続した学習活動が貢献につながると思うので事業を続けてほしい。

<3段階評価> 具体的施策に対し、内容が A=合致している B=合致しているが内容が足りない C=合致していない

施策展開	主な取り組み	具体的施策	R4	R5	R6	R7	R8	評価委員会意見・感想
2 社会教育の推進	(1)各種社会教育関係団体の活動を支援します。	①関係機関・施設・団体等との連携づくりを進めます。	B	B				<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等の連携はもっと事例があると思う。施策を評価するうえで関係団体等と連携していることが分かるようにしてほしい。団体の定義を明確にしてほしい。 ・今後も各関係機関や団体との連携が重要と思われるので、連携事業を実施してほしい。 ・各団体と地区交流センター等との関係をより密接にしていける必要があると思う。
		②団体活動の充実を目指します。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・地区交流センターを中核とし活動も内容も深めている。 ・少子高齢化により地域活動・伝統行事が縮小していく中、地区交流センターの存在意義が高まってきている。
		③地域との連携づくりを進めます。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で様々な事業を展開していると思う。
	(2)公民館等施設について、引き続き市民協働によるまちづくり活動と連携した地区交流センター事業における活動を支援します。	①公民館等施設を拠点とした地域の活性化を図ります。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・各地区交流センターで様々な事業を展開し、地域の活性化を図っている。 ・各集落の協力と地域住民の参加を得ながら地区交流センター事業を進めてほしい。 ・近年の自然災害に備えての取り組み（安心名簿作成・防災教室等）は緊急時に必要不可欠になると思う。 ・各地区交流センターで努力されており、充実した内容で取り組んでいる。
		②人づくりによる、まちづくりを進めます。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・例えば防災等の事業を行いそこからリーダーとなる人材を育成し、さらに地域づくりに繋げようとする事業がすでにある。そうした事業の拡大を期待したい。 ・地区の若い人たちに事業参加していただきながら、今後のまちづくり体制を検討してほしい。 ・事業を通し、地域づくりに尽力していると感じる。
3 芸術文化の振興	(1)芸術文化に親しむ活動を推進するとともに、市民が主体的に行う芸術文化活動を支援し、成果発表の機会と場の提供に努めます。	①芸術文化活動を支援します。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化推進事業は小中学生向けに実施することが有効である。 ・各地区の文化祭はコロナ禍あけの充実が求められる。 ・今後の芸術文化活動のあり方について検討すべきと考える（後継者不足など）。 ・一流芸術家のコンサート等について、市民に広く周知してほしい。 ・地域住民が楽しみにしている芸術文化イベントは活動を続けてほしい。
		②市民会館の機能・サービスの充実に向け検討します。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・新市民会館に期待する。
		③伝統文化の継承と芸術文化資源の活用を図ります。	A	A				<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化は残す努力をしないと消滅してしまう。意識して残す努力を地区だけでなく市全体としても必要である。そうした文化資源が地域に活力をもたらす。 ・横手の伝統文化の継承とまんがの文化の活用を期待する。 ・地域の伝統文化の継承のために必要な事業である。今後も継続して取り組んでほしい。